

専門分野

地域・在宅看護論

授業科目	地域・在宅看護概論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	授業科目	地域・在宅看護概論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者
		1年次	1	30		高橋 綾音			2年次	1	15		高橋 綾音
学習目標	<p>わが国における地域・在宅看護の背景と現状について学び、在宅看護の目的、機能、対象、特徴などの全体像を理解し、地域の特徴とその地域で疾患や障害を持ちながらその人らしく生活するための地域包括ケアシステムの中における看護の役割について学ぶ。</p> <p>1. 人がその人らしく生活していくための支援としての看護の役割について理解する。</p> <p>2. 地域での療養を支えるための地域包括ケアシステムとその制度について理解する。</p>						学習目標	<p>在宅で暮らす人とその家族に対して、法的根拠に基づいて提供されているサービスの内容や関係する施設・職種を理解し、在宅看護活動との連携について学習する。特に多くの職種が協働して推進する在宅ケアシステムとチームケアの重要性や看護職のケアマネジメントについて学び、連携や調整のあり方などについて考える内容とする。</p> <p>1. 地域で生活する人とその家族を支えるための法的根拠に基づいたサービスについて理解する。</p>					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	地域・在宅看護の概念				講義	高橋 綾音 教員 実務経験:有 【試験配点】 70点	1	在宅ケアシステムとは				講義	高田 緑 看護師 ケアマネジャー 医療法人社団 刀圭会 法人 本部 参事 協立病院地域 連携部統括 実務経験:有
2	地域・在宅看護の役割・機能						2	看護師に求められる退院支援					
3	地域・在宅看護の倫理						3	介護保険制度の仕組み					
4	地域・在宅看護の対象者①						4	地域包括ケアシステム					
5	地域・在宅看護の対象者②						5	ケアマネジメントプロセス					
6	家族への看護						6	チームアプローチと多職種協働					
7	経過に応じた看護						7	介護保険制度やその他社会資源を活用した支援の検討					
8							8	試験					
9	退院支援と退院調整												
10	地域・在宅看護の背景					野崎 早織 保健師 実務経験:有 【試験配点】 30点	10	在宅ケアシステムとは					
11	地域包括ケアシステム①						11	在宅ケアシステムとは					
12	地域包括ケアシステム② 地域包括支援センターの役割						12	在宅ケアシステムとは					
13	地域での療養を支える制度①						13	在宅ケアシステムとは					
14	地域での療養を支える制度②						14	在宅ケアシステムとは					
15	試験												
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践 医学書院						テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践 医学書院					
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

専門分野

地域・在宅看護論

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅰ (在宅療養の支援)	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ (在宅療養生活の支援)	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		2年次	1	30				高橋 綾音		2年次	1		30		高橋 綾音
学習目標	在宅看護において、療養者やその家族の様々なニーズに対応するためには、多職種と連携をはかり、療養者と家族のニーズと優先度に応じてチームでケアを行うことが重要である。本科目では、看護職が働く様々な機関・職種の役割を理解し、多職種連携の必要性に理解を深める。 1. 地域で暮らす人の生活を支えるための看護職や多職種の役割と多職種連携の必要性を理解する。						在宅看護を必要とする対象への生活の視点や治療の視点における観察や関わりについて学ぶ。また、訪問時における基本的なマナーや接遇を学び、生活者とのコミュニケーションについて理解を深める。 1. 在宅看護を必要とする対象への観察やアセスメントの視点・関わりについて理解し、生活を支えるための援助技術について理解する。 2. 訪問時における基本的なマナーを理解する。								
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	1. 在宅看護の提供方法 ①外来看護 受診継続の支援・療養相談・在宅療養移行支援					講義	北畑 良子 看護師 社会福祉法人真宗協会 特別養護老人ホーム 帯広慈恵の里 実務経験:有 【試験配点】 30点	1	生活を支える援助 生活状況のアセスメント					講義	馬場 梨花 看護師 刀圭会訪問看護ステーション向日菜所長 実務経験:有 【試験配点】 40点
2	療養の場となる施設の特徴と看護 (老人福祉施設・老人保健施設・通所介護・小規模多機能型通所介護)							2	食生活・嚥下に関する在宅看護技術 排泄に関する在宅看護技術						
3	入退所における施設との連携							3	清潔・整容に関する在宅看護技術						
4	入退院時における医療機関との連携 地域連携と退院調整・退院支援							4	活動(ADL・IADL)・休息と転倒予防						
5	地域における看護職の役割						藤本 百代 保健師 市民福祉部 地域福祉室 地域福祉課 課長補佐 実務経験:有 【試験配点】 15点	5	感染予防・災害に対する準備と対応						
6	地域連携における多職種の役割と実際 (社会福祉士・SW・CM)						佐藤 勇宏 社会福祉士 地域包括支援センター 帯広けいせい苑 統括管理者 実務経験:有 【試験配点】 15点	6	在宅での治療を支える看護 薬物療法					講義	伊藤 心 看護師 帯広厚生病院在宅療養支援科 実務経験:有 【試験配点】 40点
7							7	在宅酸素療法・非侵襲的陽圧換気療法 在宅人工呼吸療法							
8	地域におけるコメディカルの役割と実際 (理学療法・作業療法・言語聴覚療法)						早坂 恵輔 理学療法士 光南病院 実務経験:有 【試験配点】 15点	8	スキンケア						
9							宇野 雅樹 一般社団法人北海道薬剤師会副会長 実務経験:有 【試験配点】 10点	9	尿道留置カテーテル・ストーマ(人工肛門・人工膀胱)						
10	地域における薬剤師の役割と実際						米森 恒樹 介護福祉士 帯広市社会福祉協議会 地域福祉課課長補佐 実務経験:有 柴田 聡美 社会福祉士 帯広市成年後見支援センター副所長 実務経験:有 【試験配点】 15点	10	経管栄養と在宅中心静脈栄養法						
11	地域におけるインフォーマルサービスの役割と実際 (ボランティア・民生委員・権利擁護)							11	在宅看護におけるコミュニケーションとマナー					講義	高橋 綾音 教員 実務経験:有 【試験配点】 20点
12								12	訪問導入時や訪問終了時におけるマナー						
13	ヘルパーや保険外サービスの役割と実際						横濱 由奈 看護師 一般社団法人保険適用外サービスおもてなし看護 看しずく代表 実務経験:有	13							
14								14	発表会					演習	
15	試験							15	試験						
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践 医学書院						系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践 医学書院								
評価方法	筆記試験						筆記試験								
先修条件	なし						なし								

専門分野

地域・在宅看護論

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅲ (対象者別の看護の実際)	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅳ (在宅看護の実際)	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者				
		2年次	1	30		高橋 綾音			2年次	1	30		高橋 綾音				
学習目標	在宅看護を受ける対象の疾患や経過は多岐にわたる。本科目では、様々な状況にある対象の生活を捉え、対象に合わせた看護の実際について学ぶ。 1. 在宅看護が必要となる対象の疾患や障害の特徴、その方の生活を支えるための援助について理解する。						学習目標	在宅看護を効果的に進めるためには、まず患者や家族の生活状況を把握し在宅療養における生活上の問題を的確に判断することが求められる。本科目では、在宅看護における看護過程の特徴について学び、療養者とその家族が看護に求める支援について理解を深める。 1. 在宅看護における看護過程の展開し、在宅看護の対象の看護問題について考え、対象を理解する。									
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験				
1	高齢者への在宅看護の実際 認知症・独居				講義	石岡 朋子 看護師 訪問看護ステーションかいせい 副所長 実務経験:有 【試験配点】 10点	1	在宅看護の展開				講義	高橋 綾音 教員 実務経験:有				
2							2							在宅看護過程のポイント			
3	地域連携パスによる在宅看護の実際 脳卒中・大腿骨頸部骨折					小林亜紀子 看護師 開西病院看護介護部科長 実務経験:有 【試験配点】 10点	3	在宅看護過程の展開方法									
4	難病をもつ人（医療依存度の高い人）の在宅看護の実際 パーキンソン病・ALS 意思決定・医療との連携 終末期（がん）における在宅看護の実際 告知～外来がん治療～看取り 意思決定・苦痛管理				講義	伊藤 心 看護師 帯広厚生病院在宅療養支援科 実務経験:有 【試験配点】 20点	4	事例による看護過程の展開				演習					
5							5							事例による看護過程の展開：基礎情報			
6							6							事例による看護過程の展開：アセスメント			
7	医療的ケア児への在宅看護の実際					松山なつむ 保健師 訪問看護ステーションかしわのもり統括所長 実務経験:有 【試験配点】 20点	7	事例による看護過程の展開：介入方法 援助の実施：排泄援助の実際				シミュレーション					
8	在宅療養中の子どもと家族の看護 1. 在宅療養の環境と看護師の役割 2. 在宅療養中の子どもと家族の特徴 3. 在宅療養中の子どもと家族の看護				講義		8	事例ーパーキンソン病患者の高齢者と妻									
9							9	ねらい：地域で療養するパーキンソン病患者と介護者の病態と生活状況をアセスメントし、看護が介入する問題を明確にし、問題解決のための具体的な援助を立案できる。									
10	精神疾患のある人の在宅看護の実際				講義	前川加代子 保健師 精神科 認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点	10	評価項目： ①病態の理解と生活への影響の観察 ②家族の健康状態と対処能力の観察 ③介入計画が具体的 ④保健医療福祉サービスの理解									
11	精神障害をもつ人の地域における生活への支援 1. 地域生活の再構築と社会参加 2. 精神障害をもつ人をケアする家族への支援																
12	発達障害をもつ人の地域における生活への支援																
14	3. 精神障害をもつ人の地域生活支援 1) 多職種連携により地域生活支援 2) 訪問看護をととした地域生活支援				講義	近江 葉子 看護師 あうとりーち十勝 実務経験:有 【試験配点】 10点	14	事例まとめ									
15	試験						15	試験									
テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践						医学書院 医学書院	テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]/地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論[2]/地域・在宅看護の実践						医学書院 医学書院		
評価方法	筆記試験							評価方法	演習出席状況と取り組み、作成レポートで7割 筆記試験で3割								
先修条件	なし							先修条件	なし								